お知らせ

平成30年住宅・土地統計調査

問 企画課
☎823-9212
FAX 823-9203

10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、国民の住生活に関する最も基本的で重要な調査で、全国約370万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

今回の調査では、住宅数や国民の居住状況だけでなく、①「高齢化社会を支える居住環境」、②「耐震性・防火性等の住宅性能水準の達成度」、③「土地の利用状況」のほか、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたことにより「空き家の実態」を把握することをねらいとしています。

統計調査員が調査書類を配布いたします。インターネットまたは紙の調査票での回答をお願いします。

調査票に記入された内容は、「統計法」によって厳重に保護されます。

平成30年7月広島県豪雨災害義援金の配分

問 税務課（住家被害の調査など）
☎823-9204
社会福祉課（り災証明書の交付など）
☎823-9207
保健センター（申請書の書き方など）
☎823-4418

内容❖平成30年7月広島県豪雨災害の被災者の人に対して、県内外の皆さまから寄せられた義援金を、次の基準により配分します。このたびの第1次配分は、床上浸水以上の被害があった世帯に対し、一律50000円を支給します。すでに罹災証明書の交付を受けている世帯のうち、対象となる世帯には申請書等を8月下旬に送付しています。

対象となる人・世帯❖

○人的被害

平成30年7月豪雨災害で次の人的被害を受けた人又はご遺族

・亡くなられた人または行方不明の人

・重傷者（1カ月以上の治療を要する人）

○住家被害

平成30年7月豪雨災害で住んでいた家屋が次の被害を受けた世帯

全壊・半壊・一部破損・床上浸水

提出する書類❖義援金申請書（重傷者の人は1カ月以上の治療を要することが確認できる医師の診断書（コピー可）、重症者報告書

申請方法❖

○郵送で申請してください。同封の返信用封筒をご利用ください。

○窓口での申請を希望される場合は下記の場所で受け付けますが、混雑が予想されますので郵送での申請を利用してください。

被災者支援相談窓口❖海田町役場　1階ロビー

受付時間❖平日の9時～17時

ふるさと納税として

寄せられた善意（敬称略）

☆金一封

富山県高岡市　浅野　明宏

広島県広島市　梶原　正則

東京都中野区　一上　隆志

福井県坂井市　藤木　照久

神奈川県横浜市　掘光　啓介

愛知県名古屋市　前田　充弘

東京都豊島区　満足　亮

9月は「食生活改善普及運動月間」です

保健センター　☎823－4418　FAX 823－0020

「食事をおいしく、バランスよく」

「毎日プラス１皿の野菜」

野菜で健康生活

大人が１日に必要な野菜の摂取量は350ｇ。これは日本人の平均摂取量にもう１皿加えた量に相当します。

「おいしく減塩1日マイナス2g」

減塩で健康生活

目標は現在の摂取量から－２ｇ。だし・柑橘類・香辛料等を使って、おいしく減塩。

「毎日のくらしにwithミルク」

牛乳・乳製品で健康生活

20代～ 30代の３人に１人が牛乳・乳製品をとっていません。カルシウムとたんぱく質がバランスよく含まれる、牛乳・乳製品をとってあなたの未来も健康に。

9月10日から16日は自殺対策予防週間です

保健センター　☎823－4418　FAX 823－0020

若い世代に伝えたい

話してください あなたの気持ち

こころの傷は目に見えません。したがって、傷が小さいうちにまわりに「助けて」とメッセージを出して周囲に援助を求めることが大切です。

全国の自殺者は減っていますが、若い世代での死因は自殺が多く占めています。

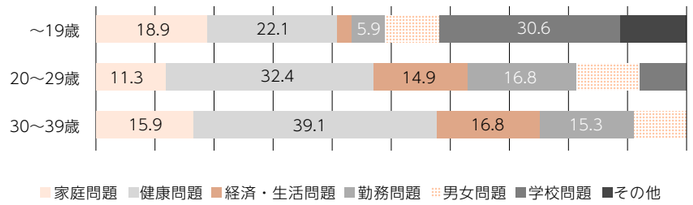
◆若い世代の自殺の現状（15 ～ 39歳、死因の上位３位）

年齢	第１位	第２位	第３位
15～19	自殺（36.6%）	不慮の事故（23.6%）	悪性新生物（12.0%）
20～24	自殺（50.1%）	不慮の事故（17.4%）	悪性新生物（ 8.4%）
25～29	自殺（47.2%）	悪性新生物（12.3%）	不慮の事故（11.5%）
30～34	自殺（39.4%）	悪性新生物（18.4%）	不慮の事故（10.0%）
35～39	自殺（29.1%）	悪性新生物（23.8%）	心　疾　患（ 9.5%）

※悪性新生物（がん）　　厚生労働省「平成27年人口動態調査」

若い世代では、いずれも自殺がトップです。中でも20代は、自殺の割合が約50%と非常に高く、生きていくつらさをひとりで抱え込み、自殺に至る場合もあります。それは、自殺はいくつかの問題が複雑に絡み合っていることも多く、本人の逃げ道を見えづらくするためです。

自殺者の原因・動機（平成28年）



※遺書など自殺を裏付ける資料により、明らかに特定できる原因・動機を一人につき３つまで計上したもの。

心の限界サインに気づいていますか？

□これまでに関心があったことに対し、興味が持てない
□集中できなくなった
□いつもなら楽々できるような課題が達成できない
□不安やイライラがひどくなった
□身だしなみが気にならなくなった
□健康や自己管理がどうでもいいと思える
□不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調がある
□友人との交流をやめて引きこもりがち
□危険な性行為を繰り返してしまう

自分も同じだ、当てはまる！
と思ったら
⇒信頼できる人に相談しよう
または
⇒相談機関にSOSを発信しよう

文部科学省「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」より一部引用・改変

少しだけ勇気を出して話してみよう
助けを求めることは、恥ずかしいこと、迷惑をかけることではありません

●いのちの電話　http://www.inochinodenwa.org/
　☎0570－783－556（10時～22時）
●チャイルドライン（18歳まで）フリーダイヤル　0120－99－7777
●24時間子供ＳＯＳダイヤル　　フリーダイヤル　0120－０－78310
●海田町保健センター　☎082－823－4418（平日 ８時30分～17時）